

[第 128 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 4年 7月

NPO法人高島藤樹会



- 日 時 令和 4年 8月 6日(土) 15時～17時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.144～(用意します)
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)



本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

7月2日(土)、安曇川公民館で第127回藤樹人間学塾を開きました。今回は初参加者3名を入れて14名、うち女性が4人でした。今までで最多です。

■ テキスト

中江藤樹著『鑑草』の第二巻第4話「不義密通していた男の改心」、第5話「強欲な夫と賢明な妻」

■ あらすじ

第4話「不義密通していた男が帰ってきた亭主の優しさを知って、自分が密通しているその女は犬畜生と同じだと考えて刺殺した。翌日、野菜売りの老人が来て現場にいたので捕らえられ、拷問されウソの自白をして処刑されることになった。それを知った間男は、自分が女を殺したと自首した。奉行所が国王にこれを報告したところ、この男は姦淫の罪は犯したが、殺した女は犬畜生に等しいので殺人には当たらない、野菜売りの老人が無実であると真実を告白したことは立派だ、としてその罪は問わないことになった」。

第5話(略)

■ 配布資料

- (1) 致知 竹田弘行「『孝経』が教える生き方」
- (2) 致知 鈴木秀子・田坂広志「未来の世代に伝えたいこと」 他

■ フリートーク

☆ 不義密通して女を殺した男が無罪になるとは無茶苦茶な裁きだ。藤樹先生がこれを容認されているのは納得できない。→現代においてはそうだが、当時の社会では男尊女卑がまだ根強かったということだろう。

☆ マキノ町海津で古文書を調べていると、江戸時代の女性は意外に力を持っていたことが分かる。

☆ 私もマキノの古文書を読んでいるが、男の名前しか出て来ず女性が埋もれている。

☆ 日本のジェンダー(性別)差別は今なお根強いと感じている。

☆ 女性には出産、育児という大事な役割がある。役員女性の枠を決める等は行き過ぎだ。

☆ たくさんの方の捉え方を聞くことができ、多面的に物事をとらえ、良い方向で心を進めていけたらと思う。

等の意見、感想をいただきました。

学ぶは愉し!

人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。